

「イノプロム2017」の参加

平成29年7月10日から13日にかけて、北海道は、エカテリンブルク市で開催されたロシア最大の総合産業博覧会「イノプロム2017」に参加した。「イノプロム2017」では、日本が「パートナー国」として位置づけられ、会場内の「ジャパン・パビリオン」には日本から多くの企業が参加した。北海道としては、ロシア欧露部との交流の展開を図るべく本博覧会に出展することとし、27企業・団体参加のもと、日露経済関係が高まるなかで、寒冷地技術、健康・医療、食、観光、文化の5つの分野のPRを行った。また、開催期間中、高橋知事は「イノプロム2017」で開催された日露産業フォーラムにパネリストとして参加し、北海道の寒冷地技術をPRし、また、北海道ブースにも立ち、視察で訪れた世耕経済産業大臣、マントゥロフ・ロシア連邦産業省務大臣に北海道産スイーツを振舞った。

北海道ブースを訪れたビジネス関係者は、北海道の住宅建築の構造模型に足を止めて説明を受けて関心を示していた。また、北海道の観光マップを来場者に配布して説明を行った際には、北海道のことはまだよく知らないが温泉やスキー場などの観光資源が豊富で食べ物がおいしいと知ったのでぜひ行ってみたい、と反応を示す方が多くいた。この地方と北海道は距離的に離れているので、北海道に関する情報は少なく、アクセスできる機会が少なかったようだが、同じ寒冷地にあり技術の応用が可能である強みと好意的な市民の反応に、ロシア欧露部での今後の北海道の経済交流の展望が感じられた。

なお、開催期間中、会場内ではお茶のふるまいや初音ミクの映像が流され、市内では和太鼓演奏のプログラムが行われるなど、日本の文化に触れて、市民にとって遠く感じられた日本が身近に感じられるようになったのではないかと思った。



エキスポ会場外観



「イノプロム2017」会場内



ブース内での商品説明



知事の日露フォーラム出席